



2019年5月15日

各位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ  
(コード番号: 2160 東証マザーズ)

問合せ先 取締役代表執行役CFO トーマス・イーストリング  
(TEL. 03-6214-3600)

## 有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ

当社は、過去に提出した下記の有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局に提出するとともに、決算短信等につきましても訂正しましたので、お知らせいたします。

株主・投資家の皆様をはじめお取引先および関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

### 記

#### 1. 訂正の経緯及び理由

当社は2015年12月期の有価証券報告書より国際財務報告基準（以下IFRS）に準拠した連結財務諸表を作成しており、決算短信につきましてもIFRSに準拠した決算短信を公表しております。

IFRSに準拠した会計処理については、監査法人と通常の監査の過程で相談を行っており、これまで、当社の連結財務諸表に対して無限定適正意見の監査意見を受領しておりました。

2017年7月に当社の100%子会社であるGNI USA, Inc（以下、GNI USA）は米国法人Berkeley Advanced Biomaterials LLC（以下、BAB）の持分の70%を取得し、BABを子会社化しました。その際に、BABの残り30%の持分保有者に、当該持分（非支配持分）をGNI USAに対して買取請求できる権利（売建プット・オプション）として「非支配持分プット・オプション（以下、NCI プット・オプション）」を付与しました。その結果、非支配持分保有者は、一定の条件、価格（変動価格）に基づき、当該NCI プット・オプションを行使することにより、GNI USAに対し持分の買取を請求できることになりました。

当社は、2017年12月期第3四半期の決算手続を進める過程で、NCI プットオプションの会計処理について、国際会計基準第32号第23項（以下IAS32.23という。企業自身の資本性金融商品による決済に関する規定の1つ。企業が自らの資本性金融商品を現金その他の金融資産で購入する義務を含んだ契約は、その償還金額の現在価値に基づいて金融負債を計上し、その金額相当額を資本から差引く等の会計処理）の適用について社内で検討し、監査法人とも検討結果についてのコミュニケーションを実施したものの、最終的にIAS32.23を適用しませんでした。

その後2019年12月期第1四半期の決算手続を進める中で、当社の会計監査人より、当該NCI プット・オプションはIAS32.23に従った処理をすべきであり、2017年12月期第3四半期以降のIFRSにおける会計処理に誤りがある旨の連絡を受け、当該NCI プット・オプションの会計処理について再検討した結果、IAS32.23の定めに従いNCI プット・オプションに係る金融負債を計上し、その金額相当を資本から差引くという会計処理が適切な処理であったことを認識しました。したがって、2017年12月期第3四半期以降2018年12月期までの期間の決算において、当該NCI プット・オプションに係る金融負債の計上及び同額を資本から差引くという会計処理に過年度に遡って修正することにいたしました。

当該修正は過年度の連結財政状態計算書を訂正するものではありませんが、連結損益計算書（たとえば、売上収益、営業利益、当期純利益および親会社の所有者に帰属する当期利益などの損益項目）には影響はありません。当該過年度遡及修正の内容を確認する過程で、連結財政状態計算書に影響のあるその他の誤謬も含めて連結財務諸表に反映しております。なお、NCI プット・オプションの計上から生じる負債は、潜在的債務を保守的に見積り、当該オプションの特定条件、各期間のBAB財務成績及び為替換算影響を反映するように四半期ごとに訂正いたしました。

なお、当該訂正報告書の対象期の内部統制報告書について訂正は行いません。

2. 訂正報告書を提出する有価証券報告書及び四半期報告書
  - (1) 有価証券報告書
    - 第17期 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)
    - 第18期 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
  - (2) 四半期報告書
    - 第17期第3四半期 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
    - 第18期第1四半期 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
    - 第18期第2四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
    - 第18期第3四半期 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
3. 訂正を行う決算短信及び四半期決算短信
  - (1) 決算短信
    - 2017年12月期決算短信〔IFRS〕(連結)
    - 2018年12月期決算短信〔IFRS〕(連結)
  - (2) 四半期決算短信
    - 2017年12月期第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)
    - 2018年12月期第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)
    - 2018年12月期第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)
    - 2018年12月期第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

以上

(別紙)

訂正による過去の業績への影響 (連結財政状態計算書)

(単位：千円)

会計年度	項目	訂正前	訂正後	影響額
第17期(2017年12月期) 第3四半期	負債 合計	1,858,861	5,230,486	3,371,624
	資本 合計	12,812,431	9,441,924	△3,370,507
	資産 合計	14,671,293	14,672,410	1,117
第17期(2017年12月期) 通期	負債 合計	2,397,474	5,764,941	3,367,467
	資本 合計	13,481,864	9,911,805	△3,570,059
	資産 合計	15,879,339	15,676,746	△202,593
第18期(2018年12月期) 第1四半期	負債 合計	2,439,019	5,599,970	3,160,951
	資本 合計	13,122,695	9,591,531	△3,531,164
	資産 合計	15,561,714	15,191,501	△370,213
第18期(2018年12月期) 第2四半期	負債 合計	2,418,296	5,746,154	3,327,858
	資本 合計	13,430,870	9,755,917	△3,674,953
	資産 合計	15,849,166	15,502,072	△347,094
第18期(2018年12月期) 第3四半期	負債 合計	2,398,366	5,859,527	3,461,161
	資本 合計	13,677,273	9,981,354	△3,695,919
	資産 合計	16,075,640	15,840,881	△234,759
第18期(2018年12月期) 通期	負債 合計	3,612,142	7,092,869	3,480,727
	資本 合計	13,719,331	10,007,936	△3,711,395
	資産 合計	17,331,473	17,100,806	△230,667

訂正による過去の業績への影響 (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

会計年度	項目	訂正前	訂正後	影響額
第17期(2017年12月期) 第3四半期	包括利益合計	△104,193	△114,781	△10,588
第17期(2017年12月期) 通期	包括利益合計	118,578	105,522	△13,056
第18期(2018年12月期) 第1四半期	包括利益合計	△375,438	△521,403	△145,965
第18期(2018年12月期) 第2四半期	包括利益合計	13,752	△88,564	△102,316
第18期(2018年12月期) 第3四半期	包括利益合計	201,586	240,506	38,920
第18期(2018年12月期) 通期	包括利益合計	112,664	81,265	△31,399

※連結持分変動計算書および連結キャッシュ・フロー計算書につきましても変更しておりますが、詳細は本日開示しております「(訂正・数値データ訂正)「2018年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」の一部訂正について」等をご参照ください。なお、連結損益計算書への影響はございません。